

自治体DXは どんな未来を描くのか

全国の自治体において、人口減少に伴う行政サービスの担い手不足や財政資源の縮小により、デジタル技術とデータを活用した住民サービスの質向上と業務効率化を実現する自治体DXの取組みが急がれています。

2027年に地域創造学部（仮称、設置構想中）の開設を予定している北海道科学大学では、自治体DXに精通した専門家を講師としてお招きし、国によるマイナンバー制度の考え方や様々な自治体でのDX取組み事例などを通し、持続可能な行政運営や地域課題解決手法についてお伝えする、北海道内各自治体の担当者の方々を対象としたオンライン研修会を開催します。

日 時

2026年 9月4日（金） 14時～16時

場 所

ZOOM 配信によるオンライン形式

対 象

北海道内179市町村職員の皆さま

受講料

無 料

お申込みはこちら



内 容

- 1 阿部知明氏による基調講演 40分
- 2 阿部知明氏、古見彰里氏、白井芳明氏による対談
..... 60分
※コーディネーター 本学特命教授 町田隆敏
- 3 挨拶・質疑・まとめなど 20分



講師略歴

阿部 知明 氏（あべ ともあき）

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）副理事長
総務省自治行政局長、デジタル庁統括官付審議官、
札幌市財政局長などを歴任

古見 彰里 氏（こみ あきのり）

グラフィス・グループ代表、札幌市市政アドバイザー、
北海道大学非常勤講師
著書に「公共の未来 2040年に向けた自治体経営の論点」など

白井 芳明 氏（しらい よしあき）

総務省地域情報化アドバイザー、デジタル庁デジタル推進委員、
栗山町CIO補佐官
株式会社つうけんITB事業部マーケティング担当部長

町田 隆敏（まちだ たかし）

学校法人北海道科学大学理事長特別補佐、北海道科学大学特命教授
まちづくりラボ主宰、前札幌市副市長